

2015年5月期(第29期) 決算説明会

2015年6月29日(月)
株式会社ウェザーニューズ





- 第4成長期と位置付ける期間

2013年5月期(第27期)～2022年5月期(第36期)

- テーマ

革新性

- 重点項目

1. 航海気象においてOSRを10,000隻に提供
2. 空と陸の交通気象をグローバル展開
3. ウェザーリポーターのネットワークをグローバル展開

マーケティング

陸・海・空の交通気象をグローバル展開



欧州

アメリカ

アジア

日本

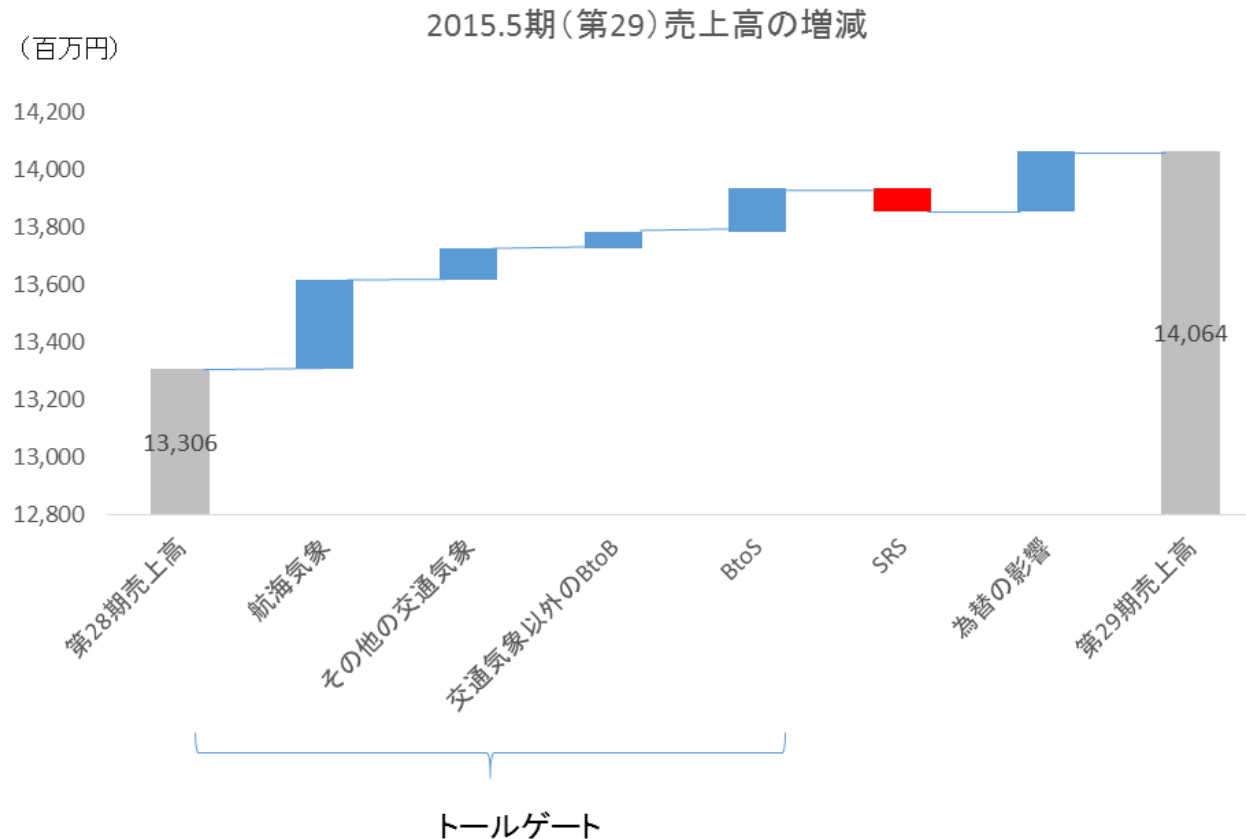
WETCoMを中心に
日本において産業気象を深堀

※Symbolic CustomerとともにGlobal Service Menuを立ち上げる

参加型インフラを立ち上げながら
無常識インフラを整備

(単位:百万円)	2014.5期 (第28期) 実績	2015.5期 (第29期) 実績	前期比伸び率
売上高	13,306	14,064	5.7%
(BtoB売上高)	7,228	7,971	10.3%
(BtoS売上高)	6,077	6,092	0.2%
営業利益	3,268	3,304	1.1%
経常利益	3,293	3,504	6.4%
当期純利益	1,873	2,252	20.2%

- 増収増益を達成
- 航海気象が好調に推移し、BtoB売上高は10%増収
- モバイル・インターネットが底打ち、BtoS売上高が増収

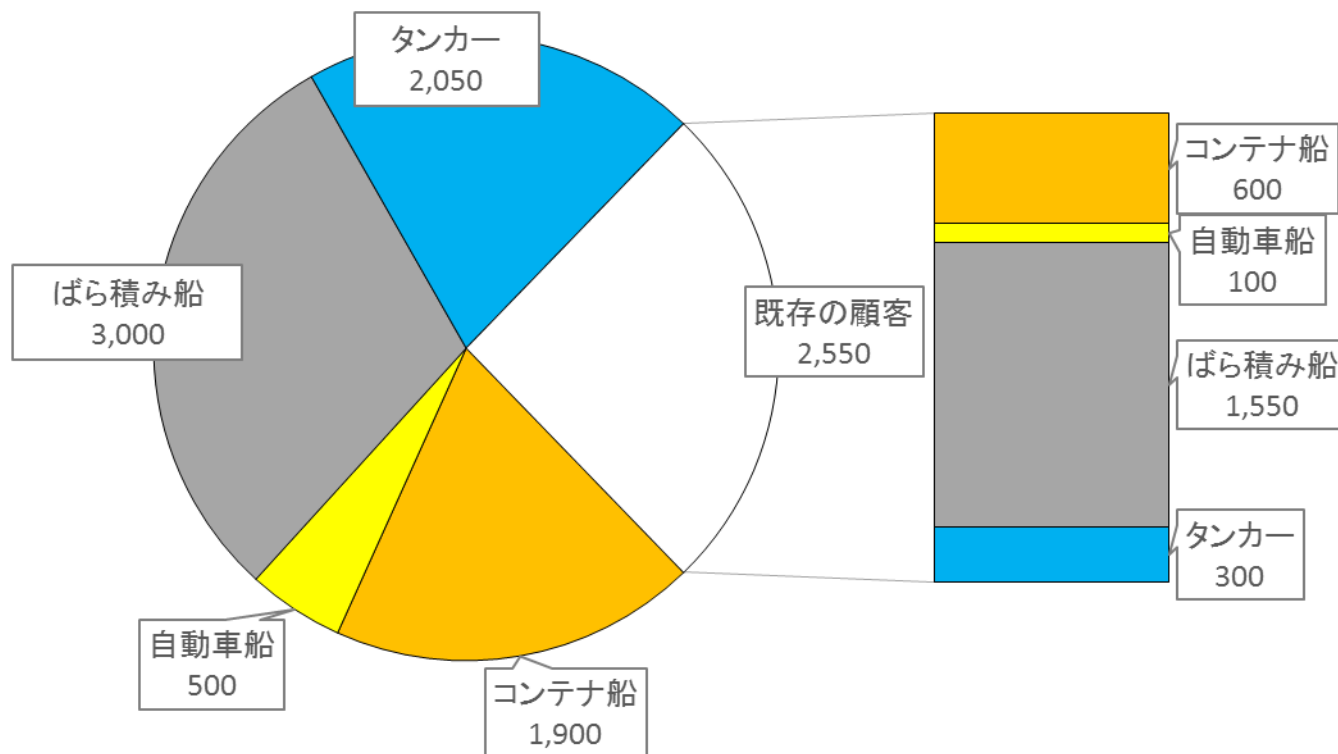


- 航海気象を中心にトールゲート事業が増収
- SRSの減収は、放送局向けシステムの更新サイクルなどによる(BtoS)
SRSは Stage Requirement Settings の略。将来のトールゲート型ビジネスにつながる一時的な調査、システムなど

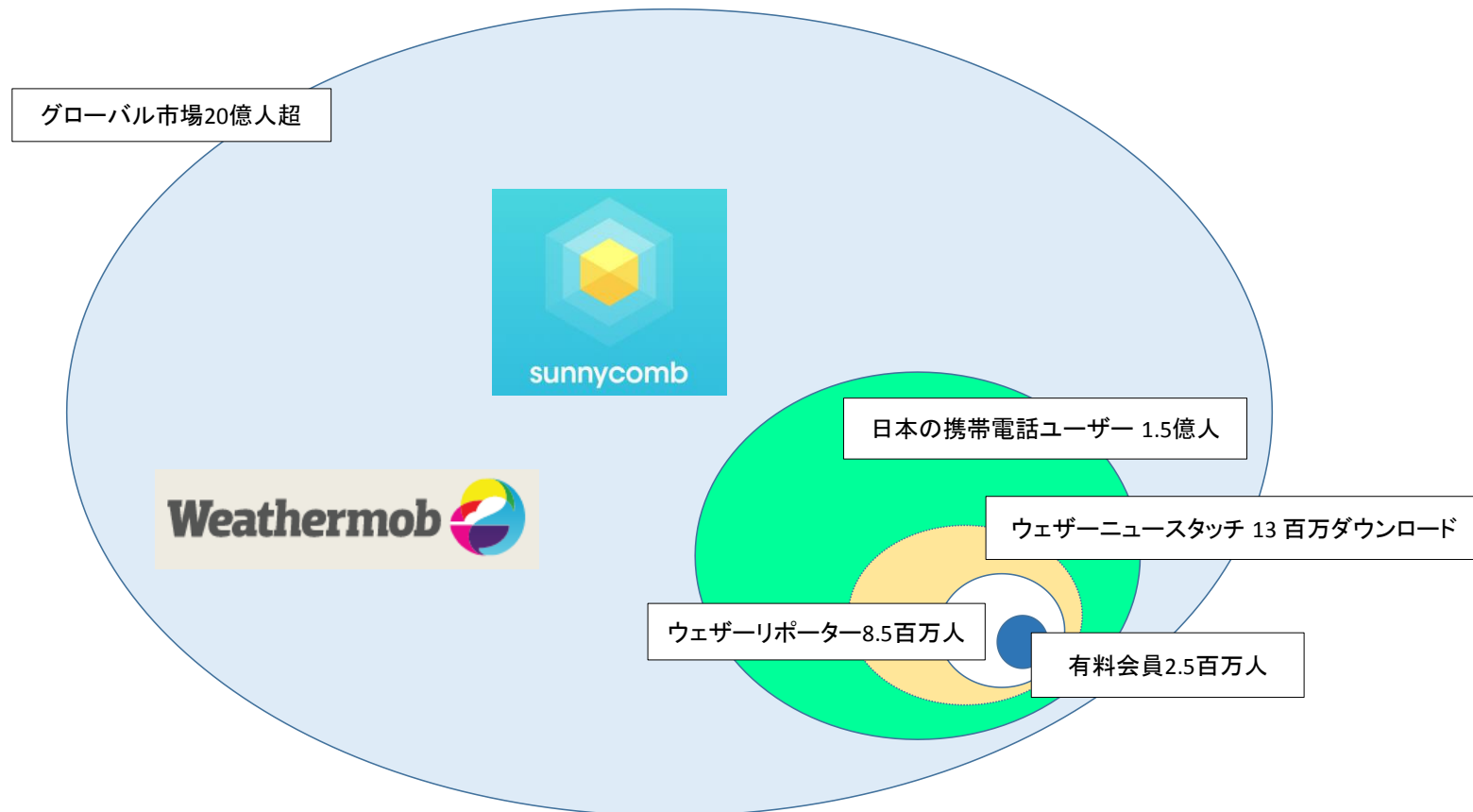
(単位:百万円)	2015.5期 (第29期)		2016.5期 (第30期)		通期伸び率
	上期実績	通期実績	上期予想	通期予想	
売上高	6,580	14,064	7,200	14,800	5.2
(BtoB売上高)	3,637	7,971	4,200	8,700	9.1
(BtoS売上高)	2,943	6,092	3,000	6,100	0.1
営業利益	1,533	3,304	1,700	3,600	8.9
経常利益	1,670	3,504	1,700	3,600	2.7
当期純利益	1,093	2,252	1,100	2,400	6.6

- 売上高は7期連続、当期純利益は9期連続の過去最高を予想
- 航海気象が増収を続けるのに加え、その他BtoBが成長
- BtoSはトールゲートは伸びるものの、SRSで減収

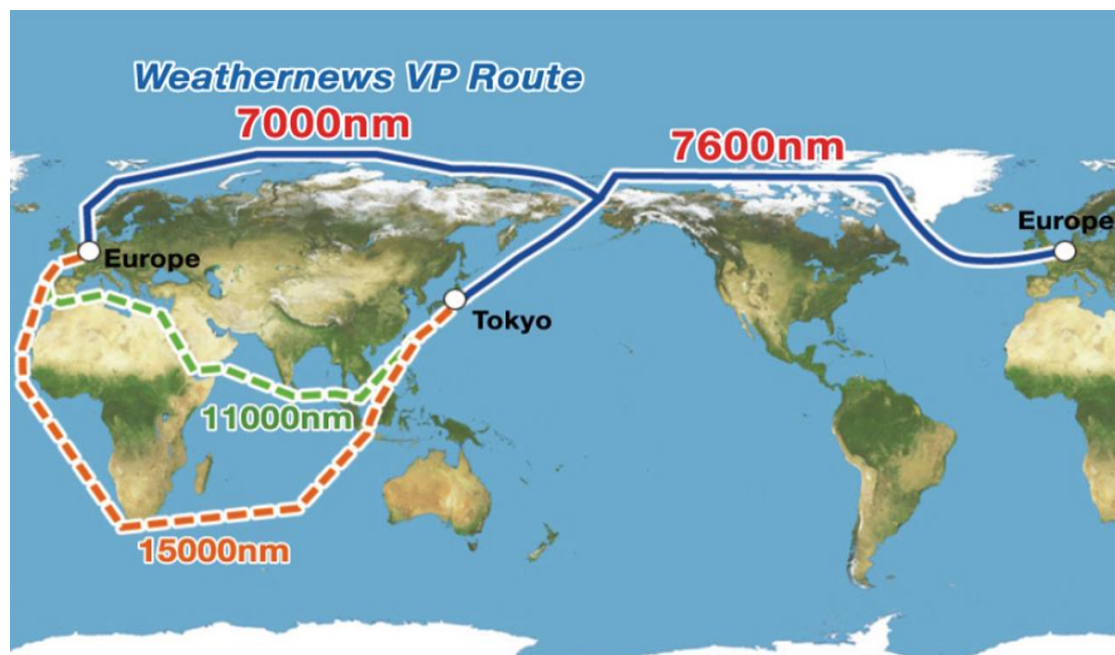
航海気象の潜在市場



- 世界の外航船約20,000隻のうち、10,000隻が航海気象のサービス対象になると想定
- 2016.5期は、船種毎に進化したOSRがコンテナ船、ばら積み船で採用が拡大すると予想



- 参加型コンテンツの充実に加え、キャリア等とのコラボレーションを通じサポーター数を拡大
- SunnycombとWeathermobを通じて、ウェザーリポーター・ネットワークのグローバル展開を加速



- 2機目の小型衛星 WNISAT-1R を2016.5期に、ロシアのバイコヌール基地からの打ち上げ予定
- 海氷を観測し、北極海航路の運航を支援

- 第29期末に記念配当を実施
 - ✓ 中間配当 30円 (5円増配)
 - ✓ 期末配当 40円 (5円増配)
 - ✓ 記念配当 30円 (創業30周年記念)
 - ✓ 年間配当100円 (配当性向48%)

- 第30期の配当予定
 - ✓ 年間配当70円

- 執行役員制を採用

- ✓ 経営環境の変化を受け、取締役会のガバナンス機能を明確化し、取締役が経営者としての職務の執行をより効果的・効率的に行うために執行役員制を採用

- 体制を変更

- ✓ 現在

- 取締役 13名（うち社外取締役2名）

- 監査役 3名（うち社外監査役2名）

- ✓ 2015年8月8日以降

- 取締役 6名（うち社外取締役2名）

- 監査役 3名（うち社外監査役2名）

- 執行役員10名（うち取締役兼務4名）

